



むら せ  
**村瀬 旬**  
(至誠)



## ユネスコスクールである富士宮市立富士宮第二中学校の他国学校との交流の現状と今後の目標について

**問** 現在、富士宮第二中学校はユネスコスクールとしてどのように機能しているか。

**教育長** ユネスコスクール認定を受けた当時は、韓国のヨンセン中学校やジュンゴン女子中学校、和歌山県田辺市立本宮中学校と積極的に進めていたが、その後コロナ禍を経て交流は途絶えてしまっている。コロナ禍が落ち着いてきている現在、また交流を行いたいとの思いが全校体制で高まっている状態である。

**問** 生徒たちの反応はいかがか。

**教育長** 生徒たちはユネスコ委員会を中心に自分たちでできることを進めて行きたいと考えている。生徒会本部役員を中心に調べたり、各委

員会の委員長が集まる中央委員会で話し合いをしたり大変意欲的に活動を進めている。

**問** 現在は何か国との交流をおこなっているのか。

**教育長** 現在は新型コロナの影響で交流は途絶えているが、ユネスコスクールとして同じ志を持つ世界中の学校と知見を共有し、パートナーシップを育む活動を推進していくよう、教育委員会からもお願いしていきたいと思う。



▲ユネスコスクールである二中の活動の様子



うす い  
**臼井 由紀子**  
(富岳会)



## マンダンドゥプール自治体との都市交流について

**問** 数々のスケジュール変更は事前に職員派遣をするなどで解消したと考えるがいかがか。

**市長** 当事者である市の立場を出し抜いて私自身一度も会っていない自治体の首長に個人的に面会したことは非常識な行動で見識を疑う。

**問** 市民の誰も行った事のない所と提携を結ぶという事で、行って見ないと真実は分からないと思ひ、自分のお金でこの目で見たいと思ひ行ってきたが、それはいけない行為なのか伺う。

**市長** 当局はネパール大使を信頼してやっているのだから当局にお任せいただくのが筋。私たちがまだ相手側と会ってもいないのに、先に行くというのは完全に「抜け駆け」なので、昔は一番悪いことで戦国時代なら死罪に値すること。

我先に功名心に焦って物事を進めることは最も卑怯であり執行部に対して泥を擦った様なもの。失礼千万だ。こちらの立つ瀬がなくなってしまう。反省してもらいたい。何かやる毎に議員が先に行ってあれやこれやしたら物事筋が違ってやっぱり当局を信頼してほしい。

**問** 当局と議会は両輪だというが。

**市長** 信頼して見守っていただくことが大事。議会が先回りするのはぜひ反省してもらいたい。

**問** 今後の交流の在り方について。

**部長** 産業観光の具体的な交流の可能性については関係機関との意見交換を通じ調査する。

**部長** 各々世界遺産という偉大な山の麓にあり、住む人々はそれぞれの山への想いを持ち、そこから生まれた歴史や芸術信仰などの文化があり、文化を知ること各々の山への思いがわかり、互いの地域への理解が深まると考える。

**意見** 都市交流を通して若者が世界で活躍するその姿にワクワクする。が、この事業に関しては、やり方方法等その過程に納得できない。